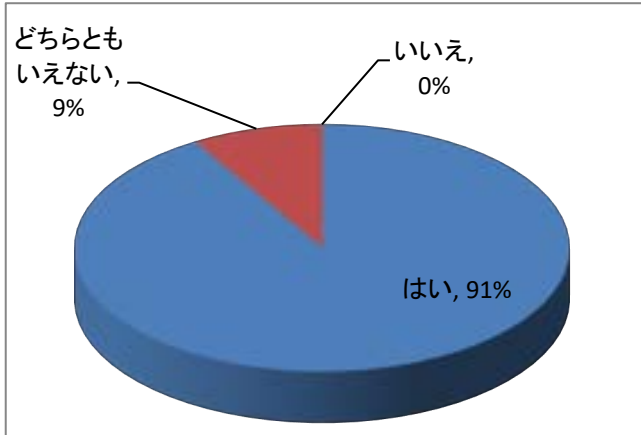


R3年度 ファミリーキッズ南林間 保護者評価結果

6月実施

5月面談時に、アンケート実施。回収24／26名 2名回答無し 93%

1. 環境・体制整備

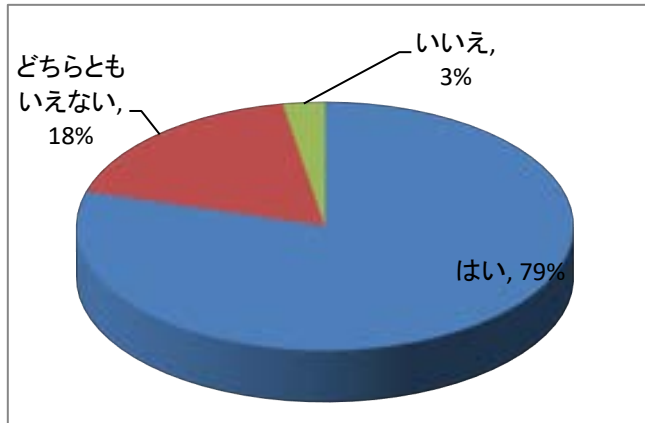


コメント:

縦長ではありますが、縦に割り、半分でカードゲームや課題への取り組み、半分でボール投げや、相撲等とお子さんが上手に活用されています。
現在手すりは有りませんが、身体障がいの方も移動は自立、全介助となっているため取り付けてはいませんが、あった方がよいという印象を持たれています。

手すりは何時でも取り付けられるため、必要に応じて対応していきたいと思っています

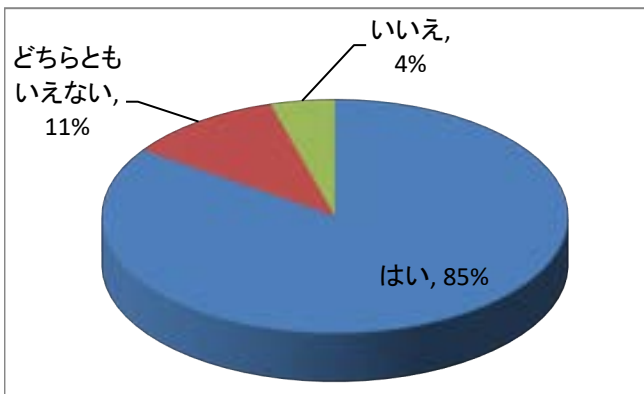
2. 適切な支援の提供



コメント:

コロナ感染対策で、キッズの最大の特徴の社会見学や公園・アスレチックなどお出掛け企画が出来なく室内活動に限定されています。
室内活動で活動内容が見えない状況の為、回答にどちらともいえないが反映されています。
活動状況の通信や連絡帳など小まめに活動状況をお知らせできるように工夫をしていきたいと思ひます。

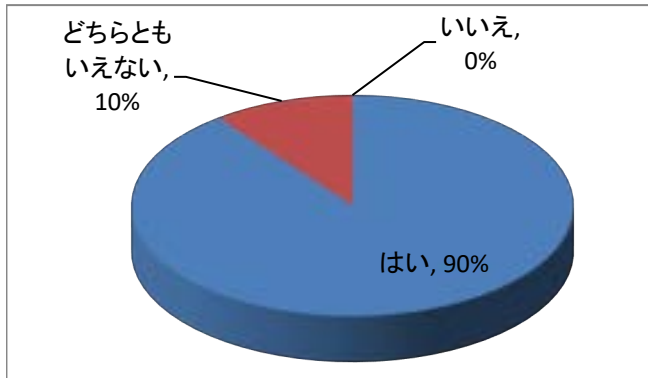
3. 保護者への説明等



コメント:

今回コロナ対策を図りながら、個別支援計画時・モニタリングの面談を実施したところ、93%のご参加が見られました。
個人情報の管理は具体的には見えにくい事や苦情対応については、経験がないという事で「いいえ」を選ばれています。
父母の会に対しては、今回もお子さんとの情報交換が出来ており、色々な相談にも乗ってもらえているので「どちらともいえない、いいえ」を選ばれています。
今後ともご家庭との情報交換を密に行いながら信頼をいただけるように対応していきます

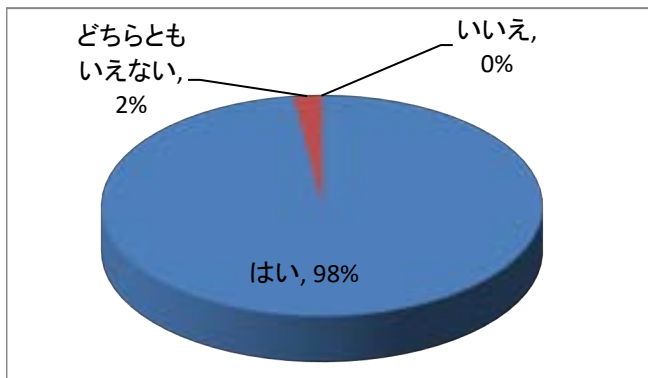
4. 非常時等への対応



コメント:

避難訓練は、半年に1回行いますが、災害予測が規模が大きくなり、大地震も予測されている事から対応マニュアルの変更も必要となっています。災害緊急連絡対応など現実には経験されていないため「どちらともいえない」の選択が多く見られています

5. 満足度



コメント

室内活動においても、お子さんが自ら準備されたり、落ち着きが見られたりや変化が見られており満足を選択された方が多くおられます。特に、キッズの特徴である集団生活(小学生から高校生、知的・身体障がい)を通して対人関係が変化し、お友だちと遊べるようになった、お手伝い出来るようになった、切り替え出来るようになったという声が数値になって表れてきています。

併せて、ご家族が利用しやすい利用日の自由設定や変更の随時対応などで助かるという声も多く聞かれています。また経済的負担に配慮した対応にも評価いただいています。

面談や日々の送迎から寄せられたご意見

- ・早く外出お出掛け企画が出来る様になってほしい(前回同様ご意見)
- ・児童デイや他の放デイで断られたが、受け入れてもらえて嬉しかった
- ・生活ルールが身につき、待つことや順番を守る挨拶や依頼、お礼などが出来る様になった
- ・好き嫌いが減り、食も広がり、食事を楽しめるようになって驚いている
- ・連絡帳は丁寧に様子が掛かれており、親の相談にも丁寧に答えてくれている
- ・帰宅後、表情が穏やかで、放デイの事も話してくれるようになった
- ・子どもが出来なかったカードやトランプでお友だちと遊び、家でも家族で楽しめる様になった
- ・宿題などを見てもらい、徐々に取り組めるようになった
- ・日時の変更や急な変更にも対応してもらえるので、助かっている
- ・おやつ無料やポイント制で1食分のお弁当等でも経済負担が軽減でき嬉しい

頂いたご意見への対応(改善)

- ・室内行事や動きのある集団活動、季節的行事に伴う工作など好評の為、コロナ対応の室内活動をより一層充実出来るように、更なる努力をしていきます

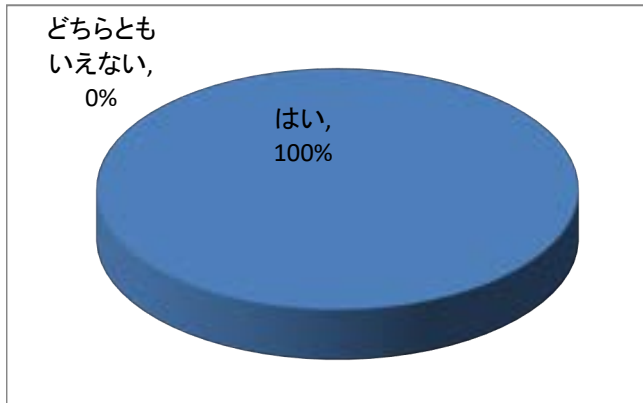
R3年6月 ファミリーキッズ南林間 事業所における自己評価結果

回収率 7/7 6月実施

日頃よりファミリーキッズ南林間では、職員ハンドブックを基本にしながら、障がい特性に配慮した支援を行い、社会的迷惑行動に気づきお友だちと楽しく遊べるように支援を行っています。

将来地域社会で「自分らしく楽しく生活できるように」興味関心を広げ意思決定の幅が広がるように支援しています。また社会生活を送る上で、食の豊かさも重要なため、色々なおやつを提供から食を広めています。これらの基本方針が職員に理解されていることから高い結果となっていると思われま

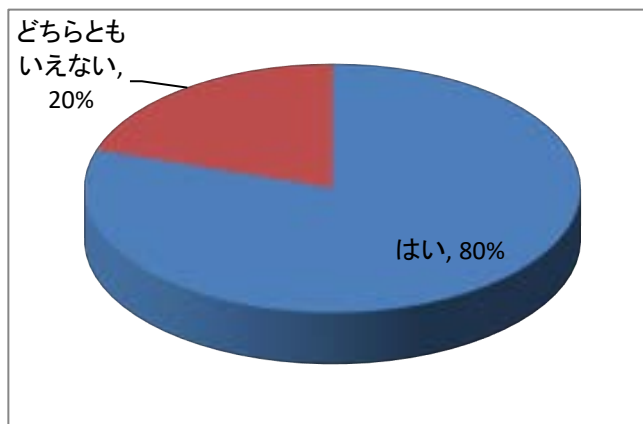
1. 環境・体制整備



コメント:

生活空間スペースは、風船バレー、柔らかいカラーボール投げ、小集団グループで遊ぶスペースがあり、同時に宿題や工作活動も行えるため使い易い印象は変わりありません。また職員を2対1で配置していますが、外出等においてはきめ細かな支援が出来る様に10:6で職員を配置し、更にボランティアを加え実施しています。色々なサポートも必要とされるため、必要に応じてボランティアの活用などを積極的に行っています。

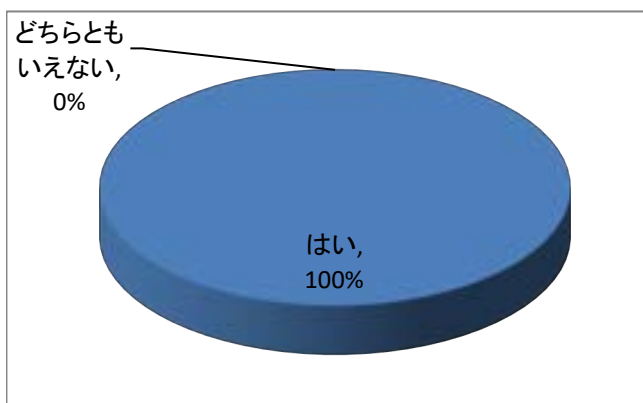
2. 業務改善



コメント:

第三者の評価は現在行っていませんのでどちらともいえないに反映しています。ハンドブックによる内部研修を基本に、必要とされる対外研修、本店主催の職員スキルアップ研修などに参加出来る様に対応しています。ご家族との情報交換は、日々の送迎や連絡帳など通して小まめにわたってやり取りが行えるように努力しています。また面談を通して課題や困りごとなどへの対応も常時行えるようにしています。

3. 適切な支援の提供



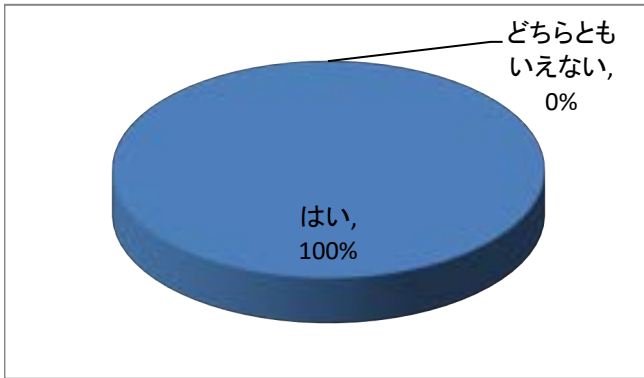
コメント:

アセスメントや個別支援経過、モニタリングなど職員が自由に共有出来るように、個別関連のファイルは別途に整理し見やすく保管しています。支援計画は「社会に出て自分らしく楽しく生活」出来る様に、ご家族のご希望と合わせて課題を整理し支援計画を作成しています。

活動プログラムについては、お友達と楽しく考え工夫しながら遊び社会性を伸ばせるように行っています。日々その時のメンバーで活動して行くため固定化はありません。

祝日対応では、遠出外出等通して社会体験が出来るように企画していますがコロナ予防対応で現在行っていません。

4. 関係機関や保護者との連携

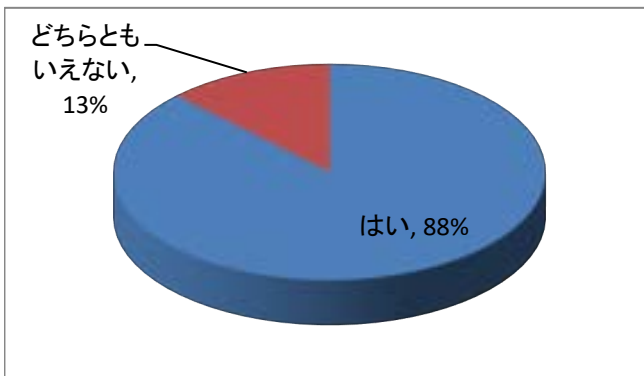


コメント:

お子さんの進路等については、ご本人の障がい特性をとらえ、様々な社会資源をご紹介しながら具体的に相談に応じています。特に身体機能障がいや医療的ケア、発作や、過緊張、湾曲や下肢捻転、嚥下困難等においては、様々なアドバイスをしています。

児童クラブや学校等関連機関との情報交換や話し合いなどは必要に応じて行っています。

5. 保護者への説明責任

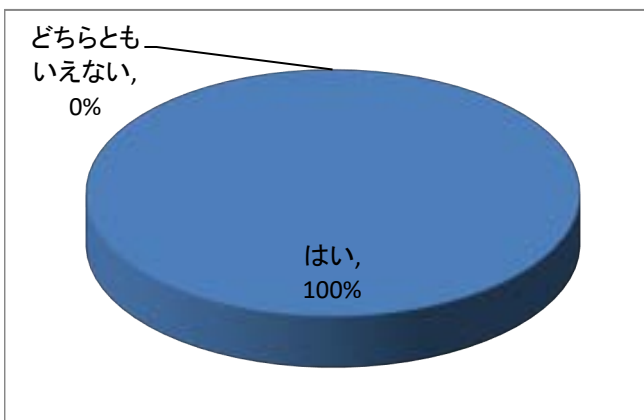


コメント:

父母の会については、特に要望が無く連絡帳や電話でのやり取り、面談などでの情報交換で十分とのご意向が示されています。行事等でボランティアの参加やご家族参加など呼び掛ける中でそれなりに地域交流が図られています。

行動障がいで、ご家庭で暴れたりされるお子さんについては、ご家族と蜜に連絡を取りながら相談助言を行っています。必要に応じて地域連携での検討会も行っています。

6. 非常時等への対応



コメント:

現在ビルの1Fに移転し、災害時の避難が出来やすく、避難誘導もしやすくなり、ご家族からの安心感も頂いています。

昼食を購入して食べる場合のアレルギーなどへの配慮や、幅広いメニューを選び食されるように歩いて行ける購入先も数か所利用しています。

マニュアルについては、災害や事故も規模が大きくなってきているため見直しを図りながら活用できるように作成しています。

・工夫点

1. 食の広がり

食生活を豊かに広げるため、色々なおやつを導入しながら食の楽しみの体験を提供することにより、食の広がりにつながり、お弁当の選択も出来る様になって来ています。(おやつ無料)

2. 集団生活

集団で特色出しながら遊ばれ、ルールや順番を守りながらお友だちとの関係も取れるよう担っていかれます。

合わせて、社会性も培われ、社会行動が見られるようになっていきます

3. ご利用安さ

色々な形で成り立っているご家族に寄り添いながら、ご利用しやすい日にちや、変更の自由に対応しています。経済的にも優しい制度なども取り入れ、ご家族を側面的にも支援しています。

・改善点(目標)

1. 災害対策

4階から1階へ移転し、ご家族の不安や災害時の誘導等がしやすくなるようにしました。

2. 家庭通信

社会見学やイベントごとに写真つき家庭通信を都度発行していますが、ご利用日の関係で外出等に

参加出来ないお子さんもおられ、日常的な活動内容の家庭通信も発行できるようにしています。

3. 緊急マニュアルの改訂

社会情勢に合わせて対応できるように改訂を行っているところです